緑亭川柳作
十四編上
仙窟
梅
春雨
奪蝶楼國貞画
十四編下
へ13
3016
27
へ13
3016
28

へ13
3016
27

へ13
3016
27

# 遊僊窟穀雨
# 浦島命拾四海之

乙卯

門析作
國貞画

徐耕堂



顔の魅ハ自鏡ゑ向たるべ知る事なく。智道を失ふ者皆あらもるとおゝ。誘ゑ臭たゝの身ちゝ。ばとゝ。己を知らざる謂ゆく。流行ゑ送ゑ。この今様の花美ゑ。摸事かく。時ゆく気でゆ似て非なる。銀と錫。金と真鍮。雪間の鳥ち。どうしても。其色さうゑ隠されぞ。木患子ハ木賊の。三年磨けどゆつち黒し。下手ハいつでも下くゆゑ。善悪一如の道理ゆて。作意ゑ本性失ハぞ。勧懲の肥とゆゝ。空語ゑ実の入根無草。四季の故事ゆびゆゑ。露野若草薄く濃く。色く見ちる春雨草紙今を春辺と咲花の。難波津習ゑ児の戯び。その下の句の文字の数。十四の編を続事とゝゆゝ

嘉永八乙卯孟春

東四

緑亭川柳記

十三夜のつき

あきのそれさえのろうまるたまるよの月の
あるろかるろ丑て
うるの助

利

若

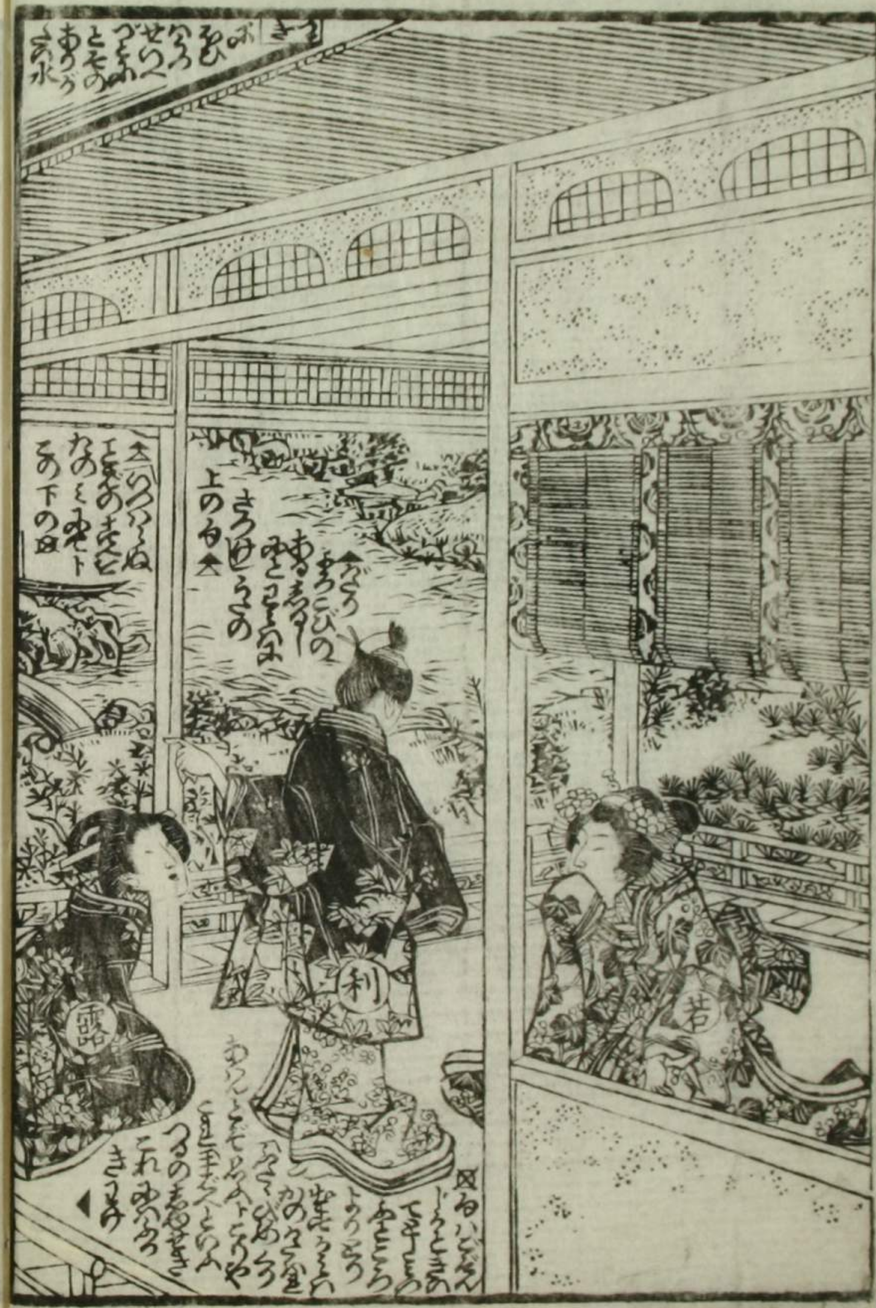
若

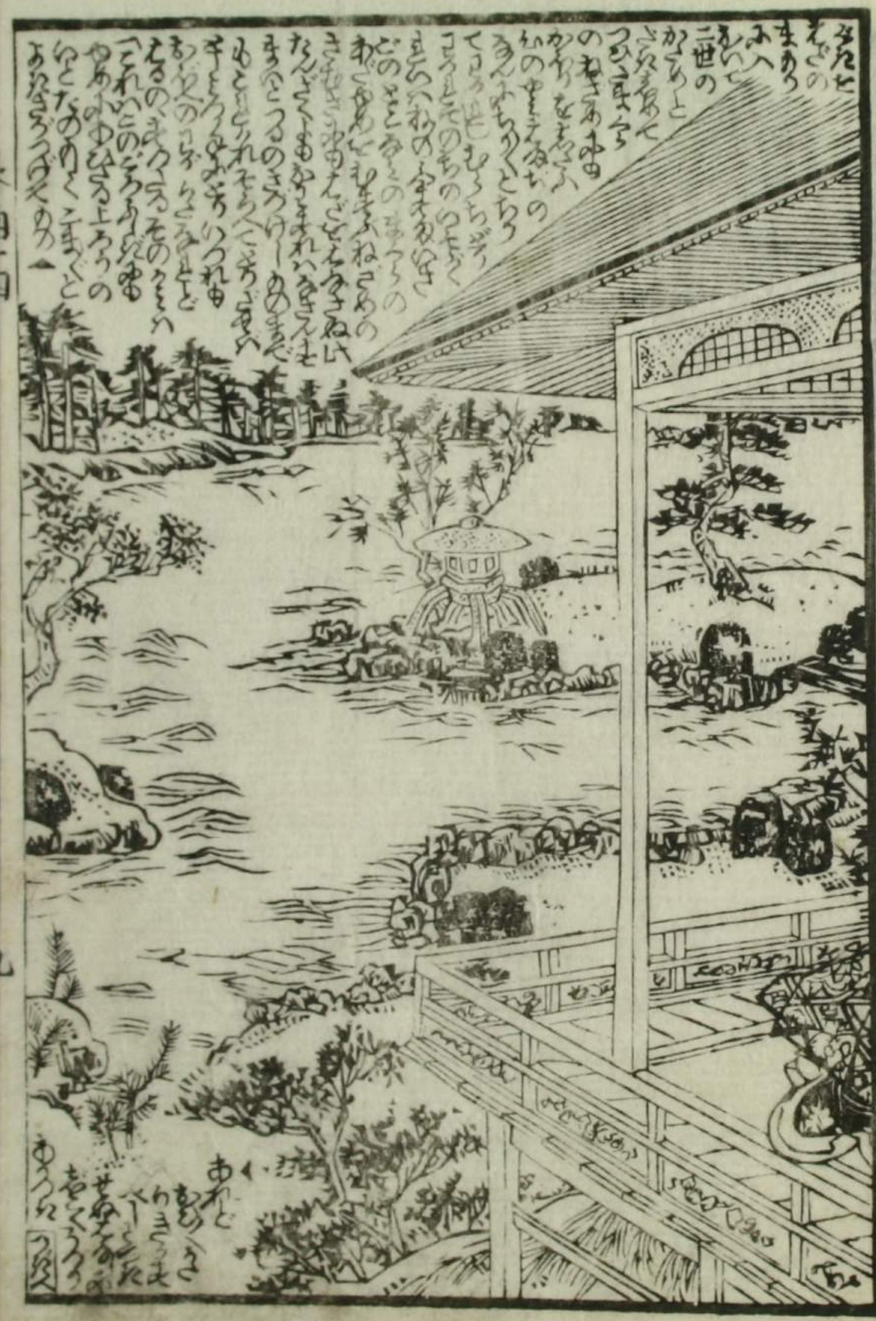
若
汐


利
露

利

若


利
露
若



# 川柳作 國貞画

嘉永八乙卯年新鐫藏版目録

遊仙皆春雨艸帋　十四編　十五編　一　綵亭川柳作　壽齋國貞画

田舍織糸線狹衣　五編　六編　仝　同　作　画

政談國盡　初編　二編　仝　一雄齋國輝画

摸花櫻草語　中本一冊　梅暮里谷峨編　一雄齋國輝画

天神一代記圖會　中本一冊　柳下亭種員著　一勇齋國芳画

容色仙代萩　三編　一筆庵英壽作　一雄齋國輝画

東都書房　馬喰町貳丁目　錦耕堂藏板

奪蝶樓國貞画

春雨

十四編下

へ13
3016
28上

へ13
3016
28

# 絵仏くらべ 法花経 四箱 全十巻

緑亭化國貞画 岩屋喜兵衛

若
汐
利

西

池
刀

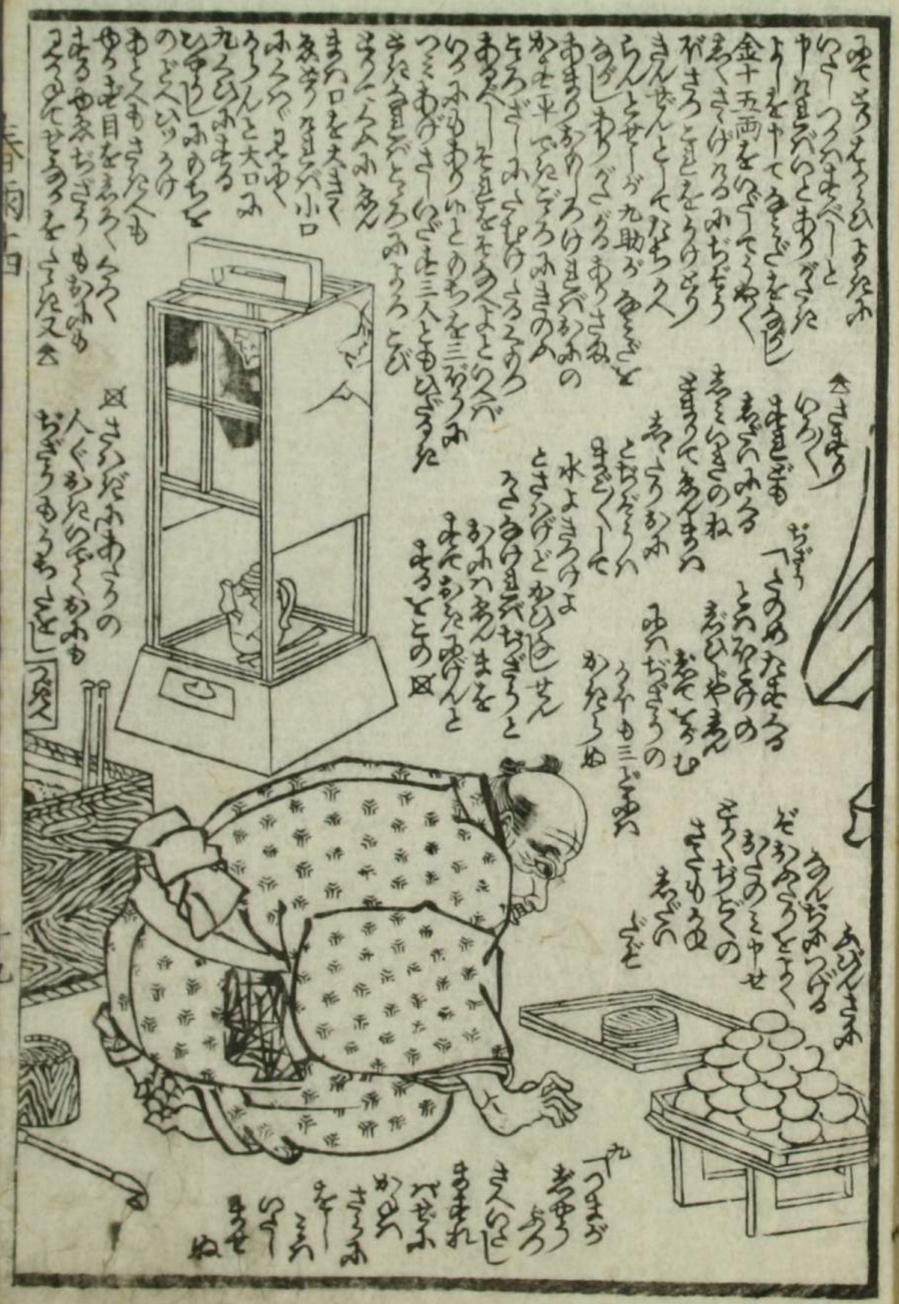
作
鉄
粕

つゞき　目のあたりふぬけつゝて
ゆ[illegible]てあれそうさいのつものゝ
ごくきたゝゝまたゝ目ろうちあぐ
またゝあまびおどろたあたゝく
ゆたもろたのくまのけ田げかゝえ
このようをつけまさーたりめ
みもとまをまーもかつまさ
ゞーいたそうろ[illegible]むーのおさで
たてふもてうのそうごんのせた
みそあちあひとんぬ白まび
ゆたゞえもゆたとのようを
つげるふまさゞたてもぜんとを
ゆたゞとみゞとあひひのまび
エまたふまさゞひゆたゞのろいを
大ぶろーたゝゆたおさがふせあいせ
たていまどのゝとの吉をあるひて
ゆたゞたふゆたゞみゞざたの
おさゞあふのゝえみげのびろう
ゆけ田長平いろうあのふふ
千ろうー人ぶもをのせ
ざのたうたをもつゝたそのゞ
あたをろーけるふめを
たゞせぬむたうのめどめい
ゆけ田いゞーふあぎむろ
まそまぎちひーと目ひた
そをひたそーろつゝたゝひつーて
めーろろろかの三人のめぎあい
ゞーゞあいてーを大ろたゝひーて
めさうーゞたゞゞゞつげみそ

▲ふいうふ
ろろ　ふも
四ろろよう
ゆで山くを
おろゆ大あり
ゆゞー山のゝゞろ
あれあち山
みまそいゝまを
ゞゞーいゝあもあゞと
人のけゞもあわく
ありけりかの三人の
つるめども
ゆたゞてかゝとを
げゞさろいゝの目の
ざいのてゝふやどう
ろぎんもあく
とまろけるうちの
とのてゝのぞんうふ
百せろ
九助と
らん
めの

とのやどのめも
さんぎまぞん作
けるぞん作
あゝとあから
ぞろゝとを
まてとそーて
さろゞたゆるる
いまとちそゞと
たぎーてのあの
ちをとるゆふふ
やーゝろりかるゝたれ
どやゝあんゞーゆ
ゝとゆゝてのあもあれ
おどろたあたもろん
ととのむとい
あたろーゝ人よ
さろろの人の
やどんまたー
とあひゆゞー
クれば三人り
ろろくまどゞ
つゝゞん自の
のゝ人ゝそ
ぎーゝとの
ゝたあんてん
人をむそ
どゝたあたろみ
ゝろけるゞ

ゆるあやぢゝろり
ゞたとのどろふろう
ぞゝへまふらせ
ととのろ
ちろゝをむと
ゆげたゆる
ようを
つゝゝ



右
吉
殘

小

## 藏版新刊珍奇雑書略目録

**阪東太郎後世譚** 九編 十編 西馬作 貞秀画

**傚像水滸侠銘鑑** 三編 四編 西馬作 國輝画

**岸柳四魔談** 四編 五編 同作 國輝画

**假名繪本忠臣藏** 二冊 全 上切 同作 画

**勧善懲惡乘合噺** 七編 八編 柳下亭種員作 一壽齋國貞画

**詞花萱草紙** 初編 二編 墨川亭雪麿作 一雄齋國輝画

**江戸鹿子紫紙** 二編 三編 梅彦作 豊国画

**象頭山多宮日記** 中本冊 樂亭譚 國輝画

**今様八犬傳** 七編 八編 春水作 國芳画

書物地本繪草紙問屋 東都馬喰町二丁目側 山口屋藤兵衛